

宮前区のミライを考える さぎぬまプロジェクト

第2回まちづくりフォーラム報告

1 開催状況

- (1) 日 時 平成 30 年 11 月 11 日(日) 13:30~16:10
- (2) 会 場 宮前区役所4階会議室
- (3) 来場者 約 200 名

2 実施概要

1. 開会のあいさつ

小田嶋宮前区長からご挨拶いたしました。

2. 意見交換の進め方について

配布資料に沿って、意見交換の進め方についてご説明いたしました。

3. 鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討状況について

配布資料に沿って、川崎市市民文化局区政推進課からご説明いたしました。

4. 意見交換

受付で配布した意見票に、ご質問やご意見を記入していただき、全体で共有できるよう、テーマごとに分けて会場内に掲出し、発言希望の方にはご発言していただきました。また、市に対して回答を求める発言には、担当から回答しています。

いただいた御意見・御質問と応答内容

※当日お越しいただいていない方にも分かりやすいよう一部言葉を改めています。

※当日の発言者の主張を記録したものであり、市として事実関係を確認していない内容を含みます。

- (1) 鷺沼駅前に区役所・市民館・図書館が移転した場合、現時点より車の数、バス便が増えないと思う人は挙手してほしい。(挙手なし) 車、バス便が増える前提で話を進める。1999年に川崎公害病患者と家族の会は国と道路公団の裁判で、車の排気ガスに含まれる二酸化窒素及びPM2.5とぜん息との因果関係が立証され勝利した。川崎市ではぜん息患者に医療補助を行っている。健康福祉局が公表している2012年のデータで、宮前区は2,980人、多摩区は2,300人と結構多い。人口1,000人当たりの分布図はこのようになっている(図を示す)。宮前区は増えている。二酸化窒素の量は天候によっ

でも変わってくるが、ひどいときは 0.135ppm と環境基準の 0.04～0.06ppm をはるかに超えている。宮前区では宮前小と宮前平駅で観測しているが、鷺沼ではしていない。鷺沼に一極集中すると二酸化窒素の量が増えてぜん息患者が増える。鷺沼に移転に賛成の方、ぜん息になってから何を言っても遅い。施設の移転には周辺住民の健康を損ない、渋滞によって生活道路(歩道がない道路)に入ってきて、子どもたちを巻き込んだ事故を起こし大変なことになる。

次にインターネットを参考に32階をイメージした模型を作ったので見てもらいたい。冬至の際には北側に陽が当たらなくなり、風害など悲惨なことが分かる。模型はイメージであり、測量と設計図がないと正確な日影はできない。行政が入るビルが住民の日照を奪ってよいのか。行政と結託している鷺沼町会の幹部の行為も許しがたい。

ハザードマップを見ると(再開発の)敷地内にはあまり掛かっていないが、川崎市環境地質地図報告書という1981年に作成したものを持っていたので見てもらいたい。水色の部分が谷戸を埋め立てたことを示している。鷺沼駅の広場辺りが該当しており、弱い地盤である。建物は支持地盤まで通せば大丈夫だと思うが、北海道地震でも液状化が問題になっていたように駅の北側の道路は使えなくなるという欠点がある。

今回の取組について防災面を考えると、市の施設が移転した場合、市の施設は大丈夫でも救助や救援が遅れる。迅速な救援はできない。一番大切なのは市が司令塔として動けることだと思う。現在の位置は警察や消防も近く、連携し、いろんなものもあって良いと思う。鷺沼に移転するということはいざという時に大変危険なことになるので、よく考えてほしい。

- (2) 個人的には交通が確保されればどちらでも良いが、これまでフォーラムなどに参加して様々な意見を聞いて思うのが、反対をされる方の意見を聞いて、生活をかけて発言されているのがよく分かった。そうした意見も踏まえて発言しなければならないと思い、2点申し上げたい。

現在の場所は、警察署があり、消防署があり、富士見台小のグラウンドの下に水もある。周辺に避難所になる学校もたくさんある。30年掛けて築いてきた現在の体制はどうなるのか。鷺沼に移転しても安心を保証してもらえるのか。

子どもの居場所について、借りられる部屋があれば良いというだけではない。子どもたちが放課後、市民館の2階のロビーに集まっている。市民館を利用する大人たちがその様子を見ながら入っていったり、ガラスを鏡にしてダンスの練習をしている子どもたちの様子を、そこを通る地域の方が見たりすることで自然と見守りにつながっている。年月を掛けて作られたものが崩されないようにしてほしい。

- (3) 防災について、防災は総合的なものでなければならない。行政・警察・消防が一体でなければならない。どこの自治体もそうである。例外がないわけではないが、大概の自治体がそうになっている。それは必要だからである。首都直下型地震の危険性が明らかになっている中で、いざという時に宮前区長はどこで指揮を執るのか。

(市民文化局区政推進課)

区長は区役所で区の災害対策本部を立ち上げ指揮を執ることになります。そのため、仮に鷺沼に移転することとなった場合は、鷺沼の区役所で指揮を執ることになります。区役所がどこに位置をしても区民の皆様を守る体制を築いてまいります。

(宮前区長)

今説明のあったとおり、区役所で災害対策本部を立ち上げることになります。ご意見のとおり、防災は総合的なものなので、首都直下型地震が起こった際には、国を挙げて援護体制を構築することになります。県立川崎北高等学校や犬蔵の訓練場などを活用しながら取り組むことになり、その総指揮を執るのが、市の災害対策本部になります。市の本部と区の本部、警察、消防が連携しながら取り組みます。仮に鷺沼に移転することになった場合でも、連携ができないということのないように取り組む必要があると考えています。

(前述の参加者からのご意見)

この問題について、住民投票を実施してはどうか。

(他の参加者からのご意見)

NPO で防災の関係をやっている。SDGsの中で、自治体は危険性のある場所に設置すべきではないというのが基本原則である。レジリエンスの精神は何条に記載されているか知っているか。

(市民文化局区政推進課)

住民投票条例がありますが、一つの区域に関する投票ではなく、全市に関する事柄についてのみ実施できる内容になっているため、区役所の移転に関する住民投票を行うことはございません。

- (4) 中間報告フォーラムで出された、基礎調査の結果にある、125億～135億という数字について、9年前のデータに基づいて物価変動率(3%)を掛けただけになっている。2009年以降、東日本大震災の発生や東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まった。それに伴い、人件費が高騰している。平成20年から30年までのデータでは、人件費及び資材費が高騰しているにも関わらず、基礎調査のデータに反映していない。ビルを建てる際は、様々な職種の方が関わるが、平成20年に比べて、平成30年の人件費は平均1.38倍になっている。市は、鷺沼への移転に関する経費を安く見せるために物価変動率のみを掛けた数字を提示したのではないか。私が1.38倍で計算し直した結果、167億～181億円になった。また、通常市が契約する場合は入札を行い、安かった業者と契約をするが、鷺沼のビルは民間ビルであり、入札はしないものと思われる。随意契約になると通常の人件費よりも高くなる可能性もある。仮に1割～2割と想定した場合、200億～220億円になる。基礎調査の結果から100億円も高い金額になる。

国土交通省が今年、災害拠点建築物の設計ガイドラインと災害拠点等となる建築物に係る機能継続ガイドラインというものを発表した。それによると、よりリスクの少ない場所に建てなさいという内容が書かれている。いろいろ見ると、鷺沼の方が、リスクが高い。警察・消防が近くにある現地ではなく、敢えてリスクの高い鷺沼に移転するのが疑問である。

今回の資料で、緊急輸送道路に接続とあるが、接続していない。不適切な内容である。鷺沼の方がリスクが高いにも関わらず、移転を決め、後で災害が起こり、誰かに被害が生じた場合、損害賠償事件が起きる。東日本大震災での大川小学校の裁判では宮城県と石巻市に対して 14 億 4000 万円の損害賠償を命じる判決が仙台高等裁判所で出されている。同じようなことが起こると想定されるにも関わらず鷺沼に移転をするのか。大川小の裁判では予見可能性が争点になっているが、鷺沼の問題については、多くの方が鷺沼の方が危険であると言っており、争点にはなり得ないと思う。

今年の 8 月 23 日付けの日本経済新聞電子版によると、総務省の研究会が 2040 年に自治体職員は半減するという報告書を出している。今の建物は 60 年使うのが基本となっているので、あと 25 年間使えば、2040 年頃と時期が合う。今の職員数で鷺沼に移転しても 20 年後には半減している可能性がある。今高い買い物をするが無駄になってしまうということである。

(市民文化局企画課)

新施設の想定整備費については、市内での事例において今回の案件に近い事例を採用しています。物価上昇率の考え方は、国土交通省が発表しているデフレーターを基に、専門業者が年度ごとに将来予測を立てて算出しています。修繕費についても同様の考え方で算出しています。

そのため、一律3%で計算をしているというものではございませんが、今後どのようにお示しするか検討してまいります。

(前述の参加者からのご意見)

今の説明では、情報公開請求で得た情報と異なるが、どちらが正しいのか。

(市民文化局企画課)

新施設の想定整備費において、鷺沼への移転時期は 2025 年度を想定し、2024 年度の物価上昇率(1.031)を掛けて算出しています。年度ごとに物価上昇率を算出しており、一律3%ということではございません。

(前述の参加者からのご意見)

私の業務経験上、3%であるのはおかしい。鷺沼の想定整備費は安くなり、現地での建て替え想定整備費は高くなるように作られているように思える。

- (5) 鷺沼に移転した場合、現在の土地はなくなると思うので、戻ってくることはできず、40 年は鷺沼に在ることになる。その間には、必ず地震が来るとされる。我々は助かると思うが、区役所は機能しなくなる。他の区役所は機能していて、宮前区役所だけ機能しないとしたらどう思うか。鷺沼への移転に賛成するということは、その状況を受け入れることと同じである。それが嫌であれば、宮前区から引っ越すことが一つの選択肢である。そうしないのであれば、40 年以内に地震が来ることを想定しなければならない。美術館を建てるという話ではなく、区の中核である区役所の話である。駅から極めて近い場所に区役所があるとどうなるか。便利かもしれないが、昼間の時間に地震が起こったらどうなるか。区役所に入ることも出ることもできない。車で移動などできるはずがない。

我々の世代だけでなく、子ども、孫の代のことまで考えるべきだ。鷺沼への移転に賛成するのであれば、そこまでの覚悟を持って賛成すべきだ。賛成する人は、地主5人組だと私は思っている。鷺沼に移転してもしなくても構わないが、宮前区に仇(あだ)する人は許さない。

- (6) 今回初めてフォーラムに参加した。基本的には反対である。何故今移転なのか、その理由がよく分からない。今までの意見を聞いて、民主主義に則った話し合いになっているのか疑問である。

宮前区は私のふるさとである。ふるさととしての環境づくりを区役所が中心となっている進めていると思う。地理的にも区の真ん中にあり、警察署・消防署が近くにある。人々の気持ちはいろいろな方向を向いているように思うが、それをまとめようという機運を感じている。言いたいことを言うだけでなく、責任を持って発言する。自分自身や子どもたちのために、本当のことを突き詰めていきたいと考えている。

- (7) 神木本町の方 15 人くらいと話をしたが、知っている人は 3 人くらいで、聞いたことはあるが、よくわからないという人や聞いたことがないという人が多くいた。どれだけの人が今回の取組を知っているのか。フォーラムに参加していない方の意見をどうやって聞いているのか。

(市民文化局区政推進課)

これまでも広報が不足しているというご意見をいただいております。市政だよりや町内会の回覧での広報を行っているところではありますが、まだまだ不足していると考えておりますので、引き続き努めてまいります。

また、フォーラムに参加できない方のご意見について、区役所等に意見箱を設置し、ご意見をいただいております。インターネットでも意見を言えるようにしてほしいとのご要望をいただきましたので、今後整えていく予定です。

- (8) 今回初めて知り、宮前区のホームページを見たが、何故トップページにリンクが貼られていないのか。

(市民文化局区政推進課)

宮前区のトップページのなるべく分かりやすい場所に掲載しておりますが、今後バナーを掲載するなどより、分かりやすく掲載してまいります。

(前述の参加者からのご意見)

今回のこの取組を行っている職員に宮前区在住の人はいるのか。

(市民文化局区政推進課)

私も宮前区在住ではございませんが、より良い宮前区になるように責任を持って取り組んでおります。

(前述の参加者からのご意見)

何故移転の話が出ているのか、何故この時期なのか。

(市民文化局区政推進課)

移転するかどうかはまだ何も決まっておりません。本日のフォーラムも、今回の取組についてご説明をするとともに、今後どのようなまちづくりを進めていくのが宮前区にとって良いかという意見をお聞きするために開催しているものです。

(前述の参加者からのご意見)

何故武蔵小杉では再開発に伴い移転をする話が出なかったのに、宮前区ではそのような話が出るのか。

(市民文化局区政推進課)

中原区役所は既に駅の近くに設置されているものと認識しております。

(別の参加者からのご意見)

町内会からの回覧で初めて知った。今回の資料を見る限り移転が決まっているかのようである。何故移転をしなければならないのか。フォーラムに参加している 200 人やアンケートの 2000 人に聞いただけである。本来は、大多数の区民からの要望があり、現地と鷺沼の比較をして、その結果どちらが良いと説明するならばわかるが、決まっていないと言うのであれば何故これだけ細かい無駄な資料を用意するのか。

先ほどの方が言われていた 200 億～220 億円を掛けるのであればもっと他のことに税金を活用すべきである。

- (9) 鷺沼駅は交通結節点であり、そこに公共機能を集約することは、良いと思う。バス路線の拡充を検討する中で、都市計画道路の整備が 30 年以上進んでいないところがある。そういった道路を整備しなければ、防災上も問題である。今回の再開発を機に都市計画道路の整備はしっかり進めてもらいたい。20 年 30 年先の子どものことを考え、しっかりまちづくりを進めてもらいたい。

(まちづくり局地域整備推進課)

川崎市では道路整備プログラムを策定し、10 年間で進めていく都市計画道路の路線について、優先順位を付けて整備を進めております。鷺沼駅での今回の取組を踏まえ、関係局と連携しながら進めてまいります。

- (10) 資料3の P.10 を見ると、今の区役所・市民館・図書館に行きやすいかどうかという問いに、6割近くの方が不満を持っていると答えている。また、P.12 には、宮前平にある公共施設を利用しない理由として、行きにくい場所にあるからという方が 55.3%だった。私も行政が出す数字は懐疑的なので、自分で調べてみた。中有馬、馬絹、神木本町、蔵敷、宮前平、宮崎台から今の区役所までと鷺沼駅までに掛かる時間を、現在のバス路線で調べた。現在の区役所までの平均は 15 分くらいで、鷺沼駅までが平均 12 分だった。アンケートの結果に誤りがないことが分かり、また、鷺沼に移転した方が便利になるということが分かった。

- (11) 再開発のきっかけの一つが交通・アクセスだった。現在の宮前区内には交通不便地域がいろいろなところがあり、今後の高齢化も踏まえ、生活をサポートするためには、どのような交通機能が必要かを考えた時に、鷺沼駅のバスターミナルの拡充が必要であると思い、十数年取り組んできた。今回再開発の話があり、交通・アクセスの改善・充実のチャンスが出てきた。これまで交通局などにバス便の検討をお願いしてきたが、なかなか結実しなかった。今回の再開発をきっかけに交通のあり方を考えるべきではないか。

現在の区役所は菅生や五所塚からのバス便はあるのか。交通結節点に機能を集約することが大事ではないかと考えている。

- (12) 宮前区は川崎市の中で車の保有率が一番高いと聞いている。駐車場をしっかりと確保してもらいたい。現在の区役所も駐車場が狭く、不便を感じている。

また、先ほども意見に出ていたバス路線の改善は、是非行ってもらいたい。

(まちづくり局地域整備推進課)

今回の取組では、交通結節機能を拡充していくという考え方があり、バスバースの拡充に合わせて路線バスネットワークを充実していく予定です。

先ほど、意見の中で、電気自動車などの環境に関する意見がありましたので、付け加えますと、川崎市では総合都市交通計画を策定しており、その計画の中で環境配慮についても記載しています。内容は、公共交通の利用を促進する、電気自動車などを活用することとしており、それらも踏まえて総合的に進めてまいります。

- (13) これまでの意見を聞いていると利便性と防災の観点から発言していたように思う。この2点のどちらを取るかとなるとなかなか答えがでないものだと思う。9月1日にNHKで放送されていた、30年以内に南海トラフ大地震が起こる可能性が80%で、死者は32万人以上出るだろうと言われている。東日本大震災でも北海道の地震でも、大災害が起きると通信網が壊滅的になっている。最初に止まるのが電車である。鷺沼に限らず駅に人が溢れることになる。

私は利便性よりも防災が大事だと思う。鷺沼にサテライト的に区役所機能を入れるのは良いと思う。区役所・警察署・消防署が隣接している現在の場所を拠点にする必要がある。

区役所の目の前の東急ストアがある場所にバスのハブ機能を持たせることで、災害時も交通機能がマヒしないし、利便性も高まるし、東急も再開発できるし良いと考えている。

- (14) 宮前区のまちづくりを考えた時に、まずは安全・安心、災害に強いまちづくりを最優先に推進すべきだと思う。国土交通省防災都市づくり計画指針というものがあり、内容は、1、災害対応において行政の責任は大きい一方、市民も防災都市づくりの担い手であることから計画づくりの段階から市民が参加し、地域の防災力向上に努める。2、都市計画は防災の主流化の流れの中で、防災を明確に意識した都市づくりを推進

すること

これを受けて川崎市では平成27年3月に防災都市づくり基本計画を作っている。その中で市長は、「様々な自然災害に対応する都市づくりが必要となってきています。日本の場合、災害リスクを完全に排除することは難しいため、まずは災害リスクを正しく理解するとともに、被災した場合を想定した取組が必要であり、人命最優先でその実現を目指してこの基本計画を策定した」と言っている。

川崎市の地域防災計画及び宮前区地域防災計画の中で、大規模災害が発生した場合は、区本部は、情報収集・伝達、医療救護、避難所開設・運営及び連絡調整等の応急対策について審議・決定するとあり、市民館は、救援物資の受け入れ、輸送拠点となり、また、一般ボランティアの活動拠点になると書かれている。区役所は災害リスクの低いところに置くべきである。

内閣府が出している資料によると、

- 1、混雑が予想される市街地を避け、被災地へ迅速・円滑な対応が可能となること
- 2、各方面からのアクセスが確保されていること
- 3、地盤等の安全性が確保されていること
- 4、重要施設との連携が確保されている位置

区役所では警察署や消防署がこれに当たる。

- 5、荷物を分配、備蓄に必要なスペースを確保できること

とされている。これらの情報を総合的に考えると現在の場所はベターな位置であることは明らかである。こうした立地から移転することは防災都市づくりの観点から考えられない。

そこで、提案が2つある。1つ目は鷺沼に図書館の分館を設置してはどうか。宮前区だけは分館がない。20年30年先を見据え、新しい図書館を作ってはどうか。2つ目は文化・演芸に寄与する市民館を新たに作ってはどうか。市民館も図書館も1つとは決められていない。

宮前区の未来を見据えた安全・安心なまちづくりは民間企業の開発に合わせて行うのではなく、区民の合意を得るまで慎重に行うべきである。

鷺沼駅前への公共機能の導入については、副市長をトップとして検討しているとのことだが、どのような検討がなされてきたか、我々は全く知らされていない。

(市民文化局区政推進課)

災害リスクの低いところに区役所をというご意見については、ワークショップの中でもいただいております。行政としても重く受け止めています。新たに鷺沼に図書館・ホールを設置という意見についてですが、どこにどれだけの図書館を配置するかということについては、教育委員会を中心に施策として決めていく必要があります。他区とのバランスから見ても本館を追加することは難しいと思いますし、アリーナに分館という位置付けではありませんが、図書コーナーがあります。全体的な総量を勘案しながら検討してまいります。

庁内の検討会議についてですが、本日のフォーラムを含め、どのような資料で皆様にご説明するか、どのように皆様からご意見をいただくかという点について検討してきたこと

ろです。会議の内容としての資料公開がされておりましたので、今後もう少し分かりやすく情報提供してまいります。

(前述の参加者からのご意見)

第1回から今回まで様々な意見が出されているが、途中で市民にフィードバックされていない。今後どのように整理して、2月に基本方針案を公表するのか疑問である。今後意見交換を重ね、区民が納得するまで時間を掛けて検討するべきである。

(市民文化局区政推進課)

今回の取組は鷺沼駅前の民間による再開発をきっかけとして、どのような公共機能が望まれるか、そしてより良いまちづくりをどのように進められるかを検討するものです。そのため、再開発のスケジュールに合わせて、いただいた意見を整理し、事業者に届けていくことが重要であると考えています。公共機能の導入については、行政として責任を持って基本方針案を作成してまいります。中間報告フォーラムでの意見については、現時点でお答えできる内容を、整理をして資料にまとめ、本日配布しています。

- (15) 意見を言うと回りから突き上げられそうで発言しにくい。フォーラムというものはこういうものなのか。賛成も反対もあって良いと思うが、反対の方が大きな声を出して、賛成の方の人格否定をするような発言をするのはおかしいのではないか。

これからの少子高齢化を考えて、宮前区に住んでいるみんなに愛される街にしたい。そのために、宮前区の拠点、ヘソを作っていくと魅力のある区にならない。区全体のことを考えて言っている。そのために交通・アクセスを充実し、一極集中しても良いと思う。交通不便地域を可能な限りなくし、鷺沼駅周辺に商業、都市型住宅、文化・交流、子育て機能、働く場所等、ワークショップではこれらの良い意見も出ている。ワークショップでは、宮前区を良くするためにはどうしたら良いかという意見がたくさん出ている。それをきちんと伝えなければいけないと思う。宮前区はこのまま何もしなければ、発展せず取り残されてしまうと思っている。中原区は武蔵小杉、高津区は溝の口、どの区も核がある。宮前区はない。それをみんなで作っていかうという話をしているのではないか。

民間事業者の事業に合わせて検討するのがいけないという意見があるが、このような機会は50年に一度あるかないかの千載一遇のチャンスだと思っている。私は商人で、区内様々なところに配達に行っている。野川や有馬、向ヶ丘、潮見台、様々なところで今の区役所等は不便だという声を聞いている。先ほど鷺沼までに掛かる時間を調べた方がいたが、そのとおりだと思う。区民のために便利であるべきである。そのためにどうしたら良いか、話し合っていきたいと考えている。

- (16) バス停やタクシー乗り場だけでなく、鷺沼駅の店舗にはエレベータをつけ、保育園、レストランを誘致してほしい。数年前、駅舎2階の店舗に上がるエレベータがなくて困っている人がいたので、整備してほしい。

人の話はしっかり聞いてから意見を述べた方が良いと思う。

- (17) フォーラムなので、様々な意見が出て議論をするのは重要だと思う。今年の2月に初めて考え方を公表してから、来年の2月には基本方針案を作成して決めていくというのはあまりに強硬なスケジュールではないか。まだ移転の話を知らない区民が多いと思う。どの程度周知されていると認識しているか。この問題は、区民が便利になるか、安全・安心に生活できるかがかかっている。2、3年掛けて、悔いのないようじっくり検討すべきである。

今回の鷺沼への移転問題は、川崎市にたまたま起こった問題だとは思っていない。国は今後の少子高齢化社会、人口減少を見据え、駅前に公共施設や大型住宅を整備する一極集中の都市づくりを推進している。しかし、住民の間には様々な問題が生じている。駅前には人口が集中して便利に見えるが、少し離れた地域は、公共施設を利用するには遠方まで出かけなければならず、交通機関も少なく、人口が減り寂れてしまう問題も起きている。川崎市でも似た事例が起こっている。市は武蔵小杉周辺を広域拠点にするとして、高さ100メートル級のマンションを17棟建て、更に21棟増やし、3万人増える予定である。長く住んでいる住民は追い出されるばかりか、日が当たらない街、ビル風で吹き飛ばされる街、鉄道はひどい混雑で、保育所・学校不足など様々な問題が起きている。住民にとって住みよい街になっていないというのが現状である。こうしたことを教訓にして、駅前開発と公共施設移転問題を考えるべきである。

市の施策によれば、宮前平駅周辺と鷺沼駅周辺の2か所が地域生活拠点となっている。これまでの市の話の話を聞くと鷺沼に移転することが根底にあるように感じる。鷺沼駅に全ての公共施設を移転するのではなく、2か所に公共機能を整備していくことが大事だと思う。宮前区民全体が便利になるような再開発にすることが重要である。人口が減少するから一極集中させるというのが国の考えであり、川崎市の考えかもしれないが、宮前区においては、今後17年にわたって人口が増えていく。高齢者も増えていく。防災を考えれば現地を維持すべきだと思う。23万人が住む区にふさわしく、公共施設を2か所に整備しても良いのではないか。市民館と図書館は2つあっても良い。

(事務局補足)

武蔵小杉周辺の高層住宅(高さ 100m 以上の共同住宅)について、現在完成しているものが10棟、事業中、計画中のものが5棟です。

- (18) 高齢化し、お店も減ってきて寂しくなっていると感じている。私はコミュニティセンターが駅前にあると良いと考えている。私は団体の活動をしており、武蔵小杉と溝の口と渋谷のコミュニティセンターをよく利用している。何故そこを利用するかというと、駅前にあるからである。場があれば、フォーラムなどで新しい方と顔を合わせて知り合いになり、新たなコミュニティ活動ができるのではないか。やり方によっては、働く場を創出し、利益を出せるのではないか。この地域でもう少し活性化できたら良いとずっと考えていた。今回の機会と一緒に考え、協力していきたいと思っている。

- (19) 基本的に鷺沼の開発には反対である。しかし、民間事業者が自力で投資して整備することは賛成である。じっくり時間を掛けて区民全体で議論をすべきだと思う。

- (20) 鷺沼への公共施設の移転を前提ではなく、現地であってもまちを良くするためにはどうしたら良いかということで、意見を述べさせていただく。まず、区役所へ行って相談をしたいという時に、自分がどの窓口に行けば良いか分かる人は少ないと思う。区役所に来た時に、まず自分の用件を伝え、どこで手続きをすれば良いか分かるような相談窓口の充実をしてほしい。次に保健所機能が区役所に併設されているが、子どもの健診などのために鷺沼駅からバスに乗ってくる親をよく見かける。バスの本数が少ないため、走って乗り換えしており、とても大変そうである。区役所を移転するしないに関わらず小児医療機関などで健診を受けられるようにするなど、子育てをしている方の負担軽減になるよう検討してほしい。

5. 閉会のあいさつ

鈴木市民文化局長からご挨拶し、閉会いたしました。

